

全国へき地教育研究連盟春季総会開催

会長に柿崎秀顕氏 再任 （北海道安平町立遠浅小学校長）

令和元年度全国へき地教育研究連盟春季総会が、5月30、31日の両日、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された。総会では、役員の変更が行われ、会長に柿崎秀顕氏が再任された。

再任の挨拶で会長は、2年目を迎えた会長として、「役に立つ研究連盟を目指す」とし、「会員にとって役に立つ知恵袋」「会員にとっての転ばぬ先の杖」となるべく、これからも新役員一同、努力するとの抱負を述べた。



【 1 日 目 】

- | | |
|--|--|
| 1 開会 | 10 ブロック別交流会 |
| 2 国歌斉唱 | 11 役員選考委員会 |
| 3 へき地教師の歌
「太陽となろう」斉唱 | 12 令和元年度役員選出 |
| 4 会長挨拶 | 13 新旧役員挨拶 |
| 5 来賓祝辞
全国連合小学校長会
対策部長 大字弘一郎 様
全日本中学校長会
会 長 川越 豊彦 様 | 14 議長解任 |
| 6 議長選出 | 15 感謝状贈呈 |
| 7 会務報告 | 16 全国大会について
京都大会(H30開催)の報告
長野大会(R1開催)の案内
富山大会(R2開催の進捗状況報告
宮崎大会(R3開催)の見通し |
| 8 質疑応答 | 17 令和二年度要望事項について |
| 9 議事
令和元年度運営方針・活動計画
令和元年度会計予算 等 | 18 閉会 |

< 会長開会挨拶 >

1 新学習指導要領の移行期にさらなる交流を

新学習指導要領の移行措置に関わる、かつてない取組に奔走した年でした。特に、道徳の教科化や外国語活動などは、学習内容にかかわる教職員のスキルアップや複式形態における大きな課題に直面し、教育課程の編成や指導方法など、県の教育委員会とタッグを組み研修を行ったなどの情報が聞かれました。

本研究連盟ではこれら注目すべき情報が必要な会員校に提供する等、新学習指導要領のスムーズな実施に向け交流等を図っていきたいと思います。



2 第8次長期5カ年研究推進計画の最終年度として実り多い研究大会

○ 全国へき地教育研究大会京都大会

京都の歴史と伝統、文化に根ざした学びを発信し、参加者からは「各校様々な課題を抱えながら、それぞれの特色を生かした実践が素晴らしかった」「おもてなしの心が伝わる、京都らしい大会で会った」「子どもたちの生き生きした活動に感動した」等の声が聞かれました。京都の皆さんが積み重ねてきた実践が、全国のへき地・複式・小規模校の学校においても、生かすことができる研究だということこれまでの思いが、確信になった大会でした。

角田実行委員長のご尽力に感謝します。

○ 北海道地区、東北地区、東海北陸地区、九州地区の各ブロック大会

どの分科会においても、意欲的に教材開発に取り組み、児童生徒の実態に合わせた教育課程をつくり上げ、実践されていました。また、分散会においても、運営方法に数々の工夫が見られ、若い先生やベテランの先生、管理職がワークショップ形式で話し合うことにより、立場や経験を越えて、活発な情報交換が行われていました。実り多き研究の成果を全国に発信し、今後も研究の充実につなげたいと思います。

全国大会京都大会・各ブロック大会が、今年度から始まる第9次長期5カ年研究推進計画へとつなげる確かな道標となったことを確信しました。

京都大会並びに各ブロックの皆さんの真摯な取組と実践の確かさに感謝し、敬意を表します。

3 新たな一歩となる令和元年

元号が変わり、全へき連としても新たな一歩を踏み出す上で、これからも多くの課題はありますが、活動の充実を図ることで、実践力の向上と会員一人一人にとって役に立つ研究連盟であることを目指していきたいと思います。

【 2 日 目 】

1 第9次長期5カ年研究推進計画について

2 指導講話

演題

へき地・小規模校の抱える課題とその解決に向けた取組

講師

文部科学省

初等中等教育局 教育課程課 情報教育・外国語教育課 教科調査官

国立教育政策研究所

教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官

上野 耕史 氏

3 閉会